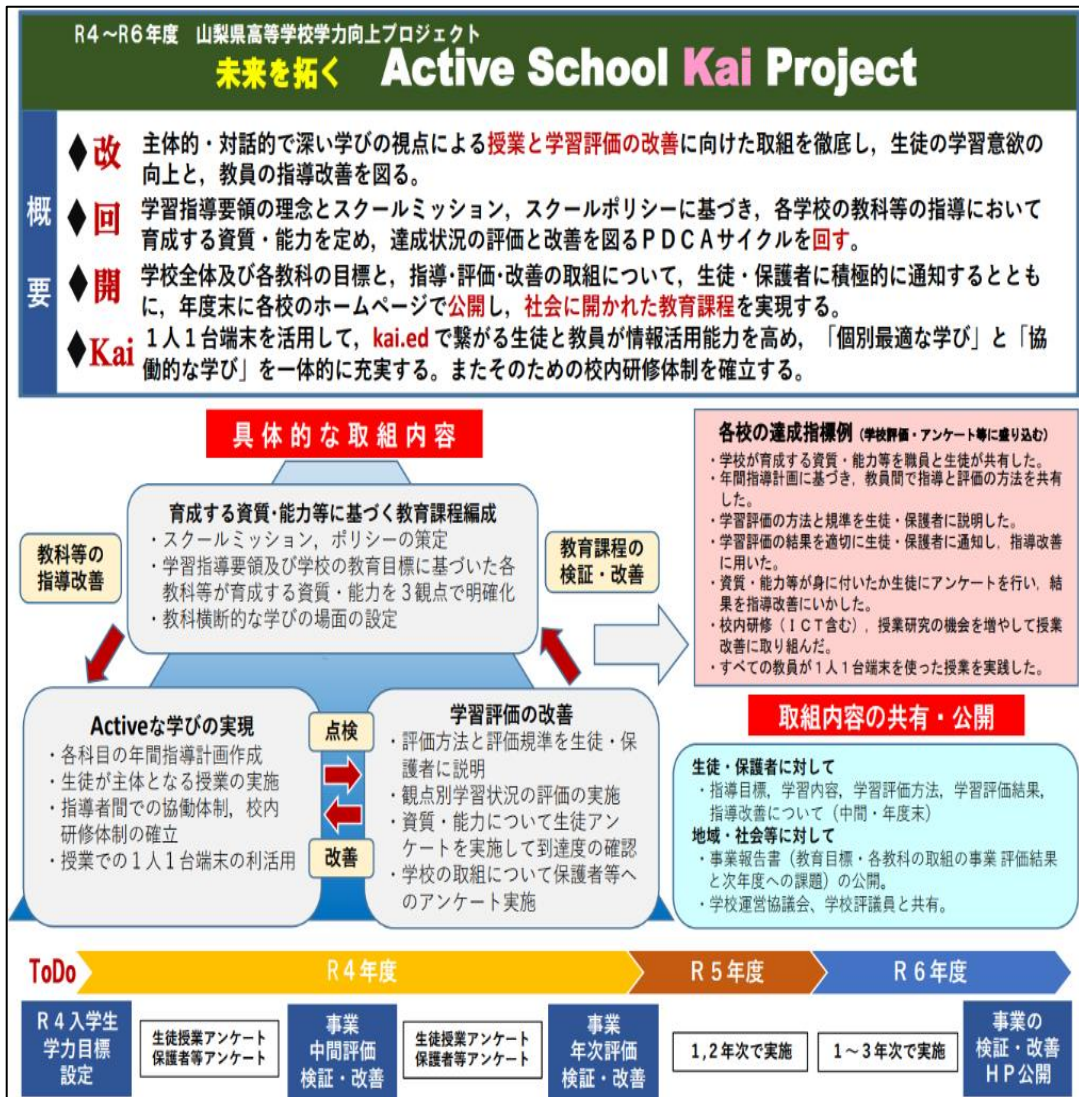


# 事業の概要

R4年度入学生から新学習指導要領が実施となり、学校全体で取り組むカリキュラム・マネジメントの一環として、「指導と評価の一体化」を進めていくことが求められています。また、教育課程を家庭や地域社会と共有する「社会に開かれた教育課程」の実現も重要課題です。これらを踏まえ、県立高等学校の教育力向上を図るプロジェクト「Active School Kai Project」を、R4年度からの3か年計画で実施しました。



# 報告書 の見方

| Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書（報告書） |               |                             |       |         |
|---|---------------|-----------------------------|-------|---------|
| 学校番号  | 学校名           | 学年                          | 在籍生徒数 | 名       |
| 教育目標<br>(学力に関するもの)                            |               | 各学校における卒業時に身に付けさせたい資質・能力です。 |       |         |
| 育てたい生徒像<br>身に付けさせたい資質・能力                      |               |                             |       |         |
| 各教科の取組  |               |                             |       |         |
| 教科  | 身に付けさせたい資質・能力 | 中間評価                        | 年度末評価 | 次年度への課題 |
| 国語  |               | 3.3                         | 3.9   |         |
|   |               | 3.5                         | 3.9   |         |
|   |               | 3.8                         | 4.2   |         |
| 地公  |               |                             |       |         |
| 数学  |               |                             |       |         |
| 理科  |               |                             |       |         |
| 英語  |               |                             |       |         |
| 芸術  |               |                             |       |         |
| 家庭  |               |                             |       |         |
| 保体  |               |                             |       |         |

**このプロジェクトを通して、各学校において授業改善が着実に実施されること、また、評価の規準、方法などの検討のなかで、教師同士の協働性が高まること、さらには、学校の教育活動の見える化につながり、生徒・保護者の安心や信頼を得ることなどの実現に寄与することを目指しています。**

**教育目標や育てたい生徒像をふまえて、学習指導要領の理念とスクールポリシーに基づき、生徒の特性等を踏まえて、教科等の指導において育成する資質・能力を定めています。**

**生徒による達成度の5段階評価のアンケート結果です。年度の中間と年度末の2回実施し、その変化を見取ります。そしてこの数値を一つの材料として、授業担当の先生方の評価をふまえて、生徒の学習改善や教師の指導改善にいかすことに活用しています。目標や取組は学校ごとに異なるため、他校の数値との単純な比較はできません。**

| 総評   | 教科の特性から、卒業時の目標を記載し、評価は年度末のみとして各学年の生徒の達成度を確認することとしています。  |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
|--|---|------|--|-------------------------------|------|------|------------------------------------|--|--|--|--|--|----------------------------------|--|--|---------------------------------|--|--|---|--|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|
|  | <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>【授業アンケート】高評価数値の推移（%：小観点第1位まで）</th> <th>R6中間</th> <th>R6度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノート等で授業の記録をすることができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>活用・探究など、学んだことを別の場面で使うことができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭学習（宿題や課題）と授業を、有機的に結び付けることができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強く思う、②そう思う</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> |      |  | 【授業アンケート】高評価数値の推移（%：小観点第1位まで） | R6中間 | R6度末 | 授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強く思う、②そう思う |  |  | 話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強く思う、②そう思う |  |  | 他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強く思う、②そう思う |  |  | ノート等で授業の記録をすることができた ①強く思う、②そう思う |  |  | 活用・探究など、学んだことを別の場面で使うことができた ①強く思う、②そう思う |  |  | 授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強く思う、②そう思う |  |  | 家庭学習（宿題や課題）と授業を、有機的に結び付けることができた ①強く思う、②そう思う |  |  | 授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強く思う、②そう思う |  |  |
| 【授業アンケート】高評価数値の推移（%：小観点第1位まで）                | R6中間  | R6度末 |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| 授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強く思う、②そう思う           |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| 話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強く思う、②そう思う     |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| 他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強く思う、②そう思う             |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| ノート等で授業の記録をすることができた ①強く思う、②そう思う              |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| 活用・探究など、学んだことを別の場面で使うことができた ①強く思う、②そう思う      |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| 授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強く思う、②そう思う |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| 家庭学習（宿題や課題）と授業を、有機的に結び付けることができた ①強く思う、②そう思う  |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
| 授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強く思う、②そう思う     |   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
|  | 保護者アンケート結果(学力に係るもの)   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
|  | 保護者の学校評価アンケート等の結果からまとめたものです。  |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |
|  | 授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)   |      |  |                               |      |      |                                    |  |  |  |  |  |                                  |  |  |                                 |  |  |   |  |  |  |  |  |   |  |  |  |  |  |

Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書(報告書)

|                |    |                                 |      |       |     |
|----------------|----|---------------------------------|------|-------|-----|
| 学校番号           | 15 | 学校名                             | 身延高校 |       |     |
| 全・定・通          | 全  | 学年                              | 1    | 在籍生徒数 | 57名 |
| 教育目標(学力に関するもの) |    | 自主的創造的な学習態度の育成                  |      |       |     |
| 育てたい生徒像        |    | 1 夢と希望と高い志を持ち、自主主体的に学習に取り組む態度   |      |       |     |
| 身に付けさせたい資質・能力  |    | 2 言語活動の充実と情報編集力を習得し、国語力・読解力・表現力 |      |       |     |
|                |    | 3 社会における自己の在り方・生き方に基づいた職業観      |      |       |     |

| 各教科の取組 |  | 身に付けさせたい資質・能力 | 中間評価 | 年度末評価  | 次年度への課題 |
|--------|--|---------------|------|--|---------|
| 国語     | 文法や表記、語句や語意を正確に理解し、知識として身に付けている。   | 3.6           | 4    | 漢字や語彙、文法など基礎学力を定着させようで、文脈を踏まえた読解力を身に付けさせる。また、読む楽しさや知識が身につく充実感を実感できるようにしていきたい。  |         |
|        | 文章の論理展開を捉え、正確に読み取ったり、自分の考えを的確に表現したりすることができる。                             | 3.5           | 3.9  | インターネットの情報に頼るのではなく、根拠をふまえたうえで自分の言葉で表現できる力を養う。  |         |
|        | 興味関心を持って自主的に学習し、自分のもの見方・考え方を広げ深めようとする。                                   | 3.6           | 4    | 教科書の文章が自分や他人とどのように関わっているかを感じさせ、筆者の考えや他人の考えを理解し自分の考えを深めさせる。   |         |
| 地史     | 日本及び世界の歴史を理解し、調査や資料から様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。                          | 3.6           | 3.8  | 調査や資料など、様々な情報を取捨選択し編集する能力を伸ばしたい。また、日本及び世界の歴史についての理解を深め、まとまり発表する技能を身に付けさせたい。  |         |
|        | 歴史に関わる事象の意味を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて考察・構想し、それを説明したり議論したりする力を養う。   | 3.5           | 3.8  | 歴史的事象のより深い考察を促すために、現実起こった事象を紹介するだけでなく、グループワーク等を通して他者の意見を聞いたり自己の意見を発表する機会を増やしていきたい。   |         |
|        | 歴史に関わる諸事象について、課題を主体的に解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚や他の文化を尊重する態度を身に付ける。         | 3.5           | 3.8  | 日本や世界の歴史にかかわる諸事象について、深く考察し表現する力を身に付けさせたい。課題解決に向けて主体的に取り組む、国際社会の一員であるという自覚を促したい。  |         |
| 数学     | 高校数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。基本的な知識・技能を身に付けている。                   | 3.4           | 3.4  | 基礎的な定理や公式、また計算法則などの定着度合いを向上させ、数学的な原理や法則についてより深く考察できるようにしたい。  |         |
|        | 学んだことを活用して事象を論理的に考察でき、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。                            | 3.3           | 3.3  | 学んだ公式や定理のみを利用する問題は解けるが、それらを複数活用するような問題へのアプローチが苦手であり、事象を的確に理解する能力を伸ばしたい。  |         |
|        | 数学を学ぶことに興味を持ち、粘り強く数学的論理に基づいて判断でき、考察を深めながら、評価・改善しようとする力を身に付ける。            | 3.4           | 3.4  | 単に問題が解けたかどうかだけではなく、他の解法についての考察やその解法における数学的な意味などについても考察できるようにしていきたい。  |         |
| 理科     | 自然の事象・現象に対する概念や法則を理解し、観察や実験の技能を正しく身に付けている。                               | 3.6           | 3.5  | 身の回りの事象と理論を紐付けすることができていないため具体的な事象例を多く取り扱うことで補いたい。  |         |
|        | 観察・実験を通して科学的な見方・考え方をはたらかせ、結果の考察・表現ができる。                                  | 3.4           | 3.6  | 観察や実験の機会を設けることができなかったため、次年度では1分野に1つは観察や実験の機会を設け、理科的な力を向上させたい。  |         |
|        | 身の回りの事象・現象から疑問を見つけ、学んだ知識等と関連付けながら主体的に探究することができる。                         | 3.5           | 3.5  | 防災など日常生活に大きく関わる分野については主体的に取り組む生徒が多いが、光や生物の構造など難色を示す生徒が多い。分野にとらわれず、自然の事象現象は繋がっていることを理解させていきたい。  |         |
| 英語     | 基本的な語いば表現等について、正しく理解することができる。  | 3.4           | 3.6  | 週に1度、年次全体で英単語の小テストに1年間取り組んだ。しつこく学習すれば合格できる容易なものであるが、単語では合格するものなかなか持続しないので、継続性のある学習を促したい。   |         |
|        | 自分の関心のある話題について、さまざまな情報や考えなどを英語で理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。     | 3.4           | 3.5  | 定期テスト毎にパフォーマンステストとして、プレゼンテーション、ディベート、ライティングコンテストを課した。全体的に努力がみられ概ね良好ではあるが、もっと自らの言葉で発信できるようにすることが次年度への課題である。                           |         |
|        | 主体的、自発的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。                                    | 3.4           | 3.5  | All Englishの授業展開を心掛けていたため、この1年間でだいぶ定着しているように思う。短い会話のやり取りはほぼ満足できているように感じているため、次年度はもう少しグループワークのありかを探していきたい。                            |         |
| 芸術     | 創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。                           | 3.7           | 4    | 色彩に抵抗を持っている生徒が一定数いるため、色彩に関する学習を取り組む。中学美術で学習した内容に沿って、補色の関係や色の三属性など色彩論を取り入れた授業を展開する。   |         |
|        | 造形的なよみや美しさ、表現の意図・創造的な工夫、美術の働き等について考え、発想や構想を練ったり、美術活動に対する見方、感じ方を深めたりしている。 | 3.8           | 4.1  | 模写やデッサンといった対象物を観察しながら描くことはできる。テーマ性を持たせた作品制作やデザイン作成が難いと感じてしまう生徒もいるため、情報収集を促す。また、発想・構想を促す「マッティング」の活用について学習する。                          |         |
|        | 美術や芸術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。                               | 3.8           | 4.1  | 間違った道具の使い方をしている生徒がいるため、机間指導を通し正しい道具の使い方を学び、矯正を図る。  |         |
| 家庭     | 生活を主体的に営むために必要な知識・技能を身に付けることができる。  | 3.7           | 4    | 教科書の内容を踏まえ、実習を行い、知識・技能を身に付けさせるべく取り組んだが、生徒自身の生活体験の差が激しく、習得の度合いに差がでてしまった。次年度はその点を踏まえ、基礎基本に重点を置き丁寧に取り組ませたい。                             |         |
|        | 自分の生活と社会との関わりの中から、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現することができる。            | 3.7           | 3.9  | 夏季休業期間のホームプロジェクトでの実践活動や、冬学期休業期間の家庭での調理実習などで、身に付けた知識や技能を活用する内容に取り組ませたが、取組みの姿勢にはばらつきがあった。未提出の生徒もある程度いたことから、次年度は計画の時間を多くし、事前指導を丁寧に行いたい。 |         |
|        | 様々な人と協働し、自分の家庭、地域の生活を創造し、持続可能な社会の構築に向けた暮らしを実践しようとする活動ができる。               | 3.7           | 3.9  | 各単元の終了時の単元の振り返り状況を記述させた。学習したい内容について主体的に振り返り、生徒自身の人生や生活にどう生かすか考えさせている。次年度も継続したい。  |         |
| 保体     | 生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や体力の向上を図ることができる。                                      | 3.8           | 4    | 学んだ知識や技能を活用し、自己や仲間と合った運動習慣が確立できるようにする。   |         |
|        | 運動の課題をもち、自ら考え活動を工夫し、その課題を解決することを通して運動の楽しさや喜びを味わうことができる。                  | 3.8           | 4    | 課題に対する意識付けをし、主体的な活動の機会を増やす。  |         |
|        | 社会生活に必要な態度の確立と定着を図り、自らの健康を適切に管理し、改善していくことができる。                           | 3.7           | 4    | 自らの健康を意識して考え、改善できる資質・能力を養う。  |         |

| 教科      | 身に付けさせたい資質・能力  | 中間評価 | 年度末評価 | 次年度への課題  |
|---------|--|------|-------|--|
| 情報      | 効果的なコミュニケーション、PCやデータの活用について理解を深め、技能を習得する。                  | 3.6  | 3.9   | Microsoft Officeの基本的な使い方は習得できた生徒は多かった。基礎を復習しながら、応用的な技術を身につけられるようにする。                     |
|         | 様々な事象において、問題の発見・解決をするために情報と情報技術を効果的に活用することができる。            | 3.6  | 3.8   | 見やすいパワーポイントの作り方や編集方法など、他者に伝えるための表現力は向上した。作成だけでなく発表の機会を増やし、情報技術を効果的に活用させていきたい。            |
|         | 情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画することができる。                           | 3.6  | 3.8   | 情報社会について主体的に学習しているが、データの活用や技術の発展によって課題が解決されることを実感している生徒は少ない。基本的な操作からデータ分析を行い、実務の問題に繋げたい。 |
| 産業社会と人間 | 自己の能力や適性を理解し、様々な課題に対して、解決に向けて処理することができる。多様な職業観・勤労観を理解する。   | 3.9  | 4.0   | 様々な行事等に取り組む、振り返り他者と共有する機会を多く設け、自己の考え方や職業観等を理解が深められるようにする。                                |
|         | 将来の進路実現に向けて、的確に判断し、表現できるようにする。夢を叶えるために積極的に取り組むことができる。      | 3.9  | 4.0   | 社会の事柄に日々関心をもって生活し、自己の進路を考える。また、グループや発表の機会を通して多様な考え方を学び、自己の進路実現に向けて、どのように行動するか考えさせる。      |
|         | 他者を理解・尊重し、自己の考えを述べ、協働し物事を成し遂げることができる。心身ともにたくましく、豊かな人間性を育む。 | 3.8  | 4.1   | 職業人インタビューや総合学科発表会に主体的に取り組ませ、他者と協働し物事を成し遂げさせる。また、それらの振り返りことで社会に貢献する意欲や態度の育成を図る。           |
| 総探      | 自己の在り方生き方の探究に向けて、複数の手段を用いて適切に調査を実施し、その成果を分析する技能を身に付けている。   | 3.8  | 4.0   | 目頃から興味関心のアンテナを高く張り、自分が興味あることはもとより興味のないことにも接する機会を増やすようにする。                                |
|         | 自己の在り方生き方を考え、自己の課題を設定し、仮説を立て検証していく方法を立案することができる。           | 3.8  | 4.0   | PCなどを利用し情報等の収集し、自分の考えを振り返る作業を丁寧に行い、論理の展開構成を実践する。探究サイクルを意識して指導する。                         |
|         | 探究活動を通して、自分の良さや他者の良さを生かしながら、協働して学びあおうとすることができる。            | 3.8  | 4.1   | 他者の意見を聞きながら、自分の考えを振り返ることを意識して行い、情報の構築に努める。また自らの考えや意見を発表する場をより多く設ける。                      |

| 「授業アンケート」高評価数値の推移(96:小点数第1位まで)                 |  | R6中間  | R6度末  |
|--|--|-------|-------|
| 授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強くそう思う、②そう思う           |  | 96.7% | 93.7% |
| 話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強くそう思う、②そう思う     |  | 80.6% | 84.5% |
| 他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強くそう思う、②そう思う             |  | 96.1% | 93.3% |
| ノート等で授業の記録をすることができた ①強くそう思う、②そう思う              |  | 99.3% | 95.0% |
| 活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた ①強くそう思う、②そう思う |  | 92.2% | 89.4% |
| 授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強くそう思う、②そう思う |  | 85.1% | 84.9% |
| 家庭学習(宿題や課題)と授業を、有機的に結び付けることができた ①強くそう思う、②そう思う  |  | 93.1% | 89.8% |
| 授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強くそう思う、②そう思う     |  | 58.4% | 64.9% |

保護者アンケート結果(学力に係るもの)

本年度の学校改善・点検シートの学力に係るものに関しては、「教育課程・授業内容は、生徒や地域のニーズにこたえたものになっている」、「わかりやすい授業が行われている」、「家庭学習の習慣化に向けて指導がなされている」などで肯定的な評価が前期・後期ともに75%以上であった。しかし、後期では前期に比べ肯定的な評価がすべての項目で減少した。特別な評価はなく、本校での取り組みが概ね理解されていると考えられる。

授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)

授業アンケート結果では、ICT機器の効果的な活用を除いた項目で肯定的な回答が84%以上と高評価であった。また、各教科における身に付けさせたい資質・能力は、ほとんどの教科で中間評価より年度末評価が上がっており、授業改善の成果が現れた。ICT機器の活用については後期の評価が上がったが64.9%であり、さらに改善が必要である。2,3年生ではICTの活用の評価が高いことから、活用事例を参考にし改善を図る。次年度は、家庭学習の習慣化に向けた指導にも力を入れながら、引き続き、自主的創造的な学習態度の育成を目指す。

Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書(報告書)

|                          |   |     |      |       |     |
|--------------------------|---|-----|------|-------|-----|
| 学校番号                     | 15  | 学校名 | 身延高校 |       |     |
| 全・定・通                    | 全   | 学年  | 2    | 在籍生徒数 | 49名 |
| 教育目標<br>(学力に関するもの)       | 自主的創造的な学習態度の育成  |     |      |       |     |
| 育てたい生徒像<br>身に付けさせたい資質・能力 | 1 夢と希望と高い志を持ち、自主的主体的に学習に取り組む態度<br>2 言語活動の充実と情報編集力を習得し、国語力・読解力・表現力<br>3 社会における自己の在り方・生き方に基づいた職業観 |     |      |       |     |

| 教科 | 身に付けさせたい資質・能力  | 中間評価 | 年度末評価 | 次年度への課題   |
|----|--|------|-------|---|
| 国語 | 表現の特色や言語の役割、語意や表記の仕方について理解する。  | 3.7  | 4.2   | さまざまな種類の文章(小説・評論・新聞・詩など)の読み取りを通して語彙を増やし、文章の構成や展開の仕方についての理解を深めさせたい。  |
|    | 情報を精査して考えを形成し、言葉の持つ特質を理解したうえで、目的や場面に応じて適切な言葉で表現する。                       | 3.7  | 4.1   | 情報を多面的・多角的な視点から精査し、自分の考えを練るための根拠や論拠となるかの吟味を重ね、主張を構成させたい。  |
|    | 興味関心を持って自主的に学習し、自分のもの見方・考え方を広げ深めようとする。                                   | 3.7  | 4.1   | 授業で扱う文章の内容と実生活の関連に気付かせ、筆者の考えと自分の考え、そして他者の考えを交流させることで自分の考えをさらに深めさせたい。  |
| 地史 | 日本及び世界の歴史を理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる情報編集力を身に付けている。                      | 3.8  | 4.1   | 調査や諸資料など、様々な情報を取捨選択し編集する能力を伸ばしたい。また、日本及び世界の歴史や社会についての理解を深め、まとめたり発表する技能を身に付けさせたい。                                |
|    | 歴史に関わる事象の意味を、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて考察・構想したことを説明したり議論したりする力を養う。   | 3.7  | 4.2   | 教科書の丸暗記ではないより深い考察を促すために、現実起こった事象を紹介するなどして、グループワーク等を通して他者の意見を聞き取り自己の意見を発表する機会を増やしていきたい。                          |
|    | 身近な社会問題から地球規模の問題まで、課題を主体的に解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚や他の文化を尊重する態度を身に付ける。    | 3.7  | 4.2   | 日本や世界の地理や歴史にかかわる諸事象について、深く考察し表現する力を身に付けさせたい。公民的分野では、課題解決に向けて主体的に取組み、国際社会の一員であるという自覚を促したい。                       |
| 数学 | 数学Ⅱにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、基礎的な計算等ができる。                                 | 3.4  | 3.8   | 基礎的な定理や公式、数学的な性質についてしっかりと定着させ、数学的な原理や法則についてより深く考察できるようにしたい。   |
|    | 事象を論理的に考察でき、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。                                      | 3.3  | 3.8   | 公式や定理のみを利用する単純な問題は解けるが、それらを複数活用するような問題を解くためのアプローチとして事象を的確に理解する能力を伸ばしたい。   |
|    | 粘り強く考え数学的論理に基づいて判断でき、考察を深めながら、評価・改善しようとする。                               | 3.4  | 3.8   | 1つの問題でも複数の解法について考察でき、その解法における数学的な意味などについても考察できるようにしていきたい。   |
| 理科 | 自然の事象・現象に対する概念や法則を理解し、観察や実験の技能を正しく身に付けている。                               | 3.3  | 3.9   | 身の回りの事象と理論を紐付けることができているため具体的な事象例を多く取り扱うことで補いたい。   |
|    | 観察・実験を通して科学的な見方・考え方をはたらかせ、結果の考察・表現ができる。                                  | 3.4  | 3.8   | レポート等で考察や表現はよくできているが思考力を問う事象では身に付けた知識等を活用できていないため、論理的な思考力を伸ばす機会を作りたい。   |
|    | 身の回りの事象・現象から疑問を見つけ、学んだ知識等と関連付けながら主体的に探究や議論をすることができている。                   | 3.5  | 3.8   | 自然の事象・現象から疑問を見つけないでいる生徒が多いため、主体的に探ることができるよう事象や現象の多角的な見方を教えていきたい。  |
| 英語 | 基本的な語彙や表現等について、正しく理解し、活用することができる。  | 3.6  | 3.9   | 自分の意見や考えを聞き手や読み手に分かりやすく伝える際に、これまでに学習した基本的な語彙や表現を活用できる力を身に付けさせる。また、英語が使えるという達成感を感じながら学習を進められるように工夫していく。          |
|    | 日常的な話題、社会的な話題について、さまざまな情報や考えなどを英語で理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。  | 3.6  | 4     | リスニングやリーディングによって、文章のメッセージ等を理解する力は身に付いた生徒が多いと感じたが、理解したメッセージ等を聞き手や読み手に伝えるための表現力に課題がある生徒が多いため、発信力の育成に力を入れる。        |
|    | 主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。                                    | 3.6  | 4.1   | 英語ができたという体験を通して、主体的または自律的にコミュニケーションを図ろうとする生徒が増えた一方、それ以外の生徒は英語でのコミュニケーションにハードルを感じているため、日常的に英語を使うことに慣れさせていく。      |
| 芸術 | 創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。                           | 3.1  | 4     | 授業内で多角的な表現に取り組んでいるため、技術の向上につながるが、次年度も継続させたい。  |
|    | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働き等について考え、発想や構想を練ったり、美術文化に対する見方、感じ方を深めたりしている。 | 3.2  | 3.9   | 模写やデッサンといった対象物を観察しながら描くことはできる。テーマ性を持たせた作品制作及びデザイン作成が難しいと感じてしまう生徒もいるため、情報収集を促す。また、発想・構想を促すようなマインドマップの活用について学習する。 |
|    | 美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。                               | 3.1  | 3.7   | 鑑賞の授業の際は作家の作品に触れ、作品制作へのアイデアに活かせるようにする。  |
| 家庭 | 生活を主体的に営むために必要な実践的な知識・技能を身に付けることができる。                                    | 3.1  | 4     | 2年次の選択科目では被服や調理の実習に重きを置いて学習内容になっている。実習を通して生活技術の向上につながっている。次年度も継続させたい。   |
|    | 自分の生活と社会との関わりの中から課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現することができる。             | 3.2  | 4     | 被服や調理の実習における振り返りレポートの作成を通して、自分の学習した実習を振り返り、次への課題を見出すことができた。次年度も継続させたい。  |
|    | 様々な人と協働し、自分の家庭、地域の生活を創造し、持続可能な社会の構築に向けた暮らしを実現しようとする事ができる。                | 3.1  | 4.1   | 授業の中で取り組んだ実習などの内容を自分自身で生活に活かしていくことが重要である。生活のどの場面で活用できるかに重点を置き、丁寧に指導していきたい。                                      |
| 保体 | 生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や体力の向上を図ることができる。                                      | 3.7  | 4.3   | 学んだ知識や技能を活用し、自己や仲間と合った運動習慣が確立できるようにするとともに、生涯にわたって運動を継続することができるようにする。  |
|    | 運動の課題をもち、自ら考え運動を工夫し、その課題を解決することを通して運動の楽しさや喜びを味わうことができる。                  | 3.7  | 4.2   | 課題に対する意識付けをし、主体的な活動の機会を増やす。   |
|    | 社会生活に必要な態度の確立と定着を図り、自らの健康を適切に管理し、改善していくことができる。                           | 3.7  | 4.2   | 自他の健康を意識して考え、改善できる資質・能力を養う。   |

| 教科 | 身に付けさせたい資質・能力   | 中間評価 | 年度末評価 | 次年度への課題  |
|----|---|------|-------|--|
| 情報 | 効果的なコミュニケーション、PCやデータの活用について理解を深め、技能を習得する。             | 3.2  | 3.7   | 技能に関して基本的な事はおおむね習得できていたが、難易度が高くなる手がつかなくなる生徒が多い。難易度を段階的に設定して課題を課している。                       |
|    | 様々な事象において、問題の発見・解決をするために情報と情報技術を効果的に活用することができる。       | 3.1  | 3.7   | 地域の問題の発見・解決のためにResas、ChatGPT、Excel等を活用したが、資料の整理に留まり発見的な提案には繋がらなかった。実践的な演習の機会を増やしていく。       |
|    | 情報技術を適切に活用し、情報社会に主体的に参画することができる。                      | 3.1  | 3.8   | 情報社会について主体的に学ぼうとしているが、データの活用や技術の発展によって課題が解決されることを実感している生徒は少ない。身近な問題を取りあげ実践にデータ分析を行う。       |
| 総探 | 自分に関する身近な事象を他と比較し、問題や課題を自ら進んで見つけることができる。              | 3.8  | 4.3   | 自らの将来の目標と社会の課題の比較を通して、将来どのように社会に貢献していくことができるのか、ということについて、興味関心のある分野からだけでなくより多角的に考えていく必要がある。 |
|    | 知識・情報を整理・活用して問題を解決し、自分の考えをまとめて表現できる。                  | 3.8  | 4.2   | インターネットや図書館からの情報だけでなく、身近な人々や専門的な知識を持った人々へのアンケートや調査を行い、より客観的で信頼できるデータ等を集集させる必要がある。          |
|    | 他者と共同して問題解決や探究活動に取り組む。生涯にわたって自己を向上させ、より良い社会にするようにできる。 | 3.8  | 4.1   | グループやペアで適切に役割分担を行い、自分の役割を責任を持って全うすることができるように指導する必要がある。そうすることで、今年度よりもさらに質の高い探究活動ができる。       |

| 「授業アンケート」高評価数値の推移(96:小点数第1位まで)   |             | R6中間  | R6度末  |
|----------------------------------|-------------|-------|-------|
| 授業の始めに授業の目標を確認することができた           | ①強く思う、②そう思う | 96.1% | 96.2% |
| 話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた     | ①強く思う、②そう思う | 86.1% | 92.6% |
| 他の人の話や発表に耳を傾けることができた             | ①強く思う、②そう思う | 98.0% | 97.7% |
| ノート等で授業の記録をすることができた              | ①強く思う、②そう思う | 98.8% | 97.3% |
| 活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた | ①強く思う、②そう思う | 89.9% | 92.2% |
| 授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた | ①強く思う、②そう思う | 91.1% | 92.2% |
| 家庭学習(宿題や課題)と授業を、有機的に結び付けることができた  | ①強く思う、②そう思う | 91.6% | 94.3% |
| 授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた     | ①強く思う、②そう思う | 73.4% | 89.4% |

**保護者アンケート結果(学力に係るもの)**  
 本年度の学校改善・点検シートに係るものに関しては、「教育課程・授業内容は、生徒や地域のニーズにこたえたものになっている」、「わかりやすい授業が行われている」、「家庭学習の習慣化に向けて指導がなされている」などで肯定的な評価が80%以上であった。また、前期に比べ、後期の方が高い評価を得ている。特別な記載ではなく、本校での取り組みが、保護者等に理解されていると考えられる。

**授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)**  
 授業アンケート結果からは、後期はすべての項目において肯定的な回答が89%以上と高評価であった。また、各教科における身に付けさせたい資質・能力は、すべての教科で中間評価より年度末評価が高く、授業改善の成果が現れた。特に、ICT機器の効果的な活用については、肯定的な回答が前期から16%アップした。次年度は、家庭学習の習慣化に向けた指導にも力を入れながら、引き続き、自主的創造的な学習態度の育成を目指す。

Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書(報告書)

|                          |   |     |      |       |     |
|--------------------------|---|-----|------|-------|-----|
| 学校番号                     | 15  | 学校名 | 身延高校 |       |     |
| 全・定・通                    | 全   | 学年  | 3    | 在籍生徒数 | 64名 |
| 教育目標<br>(学力に関するもの)       | 自主的創造的な学習態度の育成  |     |      |       |     |
| 育てたい生徒像<br>身に付けさせたい資質・能力 | 1 夢と希望と高い志を持ち、自主的主体的に学習に取り組む態度<br>2 言語活動の充実と情報編集力を習得し、国語力・読解力・表現力<br>3 社会における自己の在り方・生き方に基づいた職業観 |     |      |       |     |

| 各教科の取組 |   |      |       |  |  |
|--------|---|------|-------|--|--|
| 教科     | 身に付けさせたい資質・能力   | 中間評価 | 年度末評価 | 次年度への課題  |  |
| 国語     | 語彙を豊かにし、文法、表記、語句を正しく身に付けることができる。  | 4    | 4.1   | 語彙や文法などを正しく理解したうえで、身に付けた知識を目的や場面に応じて適切に使えるようにさせたい。   |  |
|        | 言語活動を通して、文章を正確に読み取ったり、自己の考えを的確に表現したりすることができる。                             | 4    | 4     | 情報の取捨選択や他者との対話を通して、文章を批判的に読むことや、自己の考えをわかりやすく伝える方法について考えさせる。  |  |
|        | 興味関心を持って自主的に学習し、自分のもの見方・考え方を広げ深めようとする。                                    | 4.1  | 4     | 他者の考えと自分の考えを交流させる中で、言葉の重要性に気づき、他者や社会と言葉を通じて積極的に関わろうとする態度を育てたい。   |  |
| 地公     | 日本及び世界の歴史的な事象や社会的な事象を理解し、調査や諸資料から様々な情報を適切に調べまとめる情報編集力を身に付けている。            | 3.8  | 3.9   | 資料を正確に読み取る力を育て、抽象的な概念と具体的な事象の関係を理解し、表現できるようにすることが課題である。調査や諸資料など、様々な情報を取捨選択し編集する能力を伸ばしたい。   |  |
|        | 歴史や社会に関わる事象を多面的・多角的な視点で考察し、課題解決に向けて考察や構想したことを説明したり、議論したりする力を養っている。        | 3.7  | 3.8   | [知識・技能]同様、抽象的な概念と具体的な事象の関係を踏まえ、年代や場所の異なる国・地域・社会を類比できるように力を育てたい。歴史的・地理的・公民的な観点から社会を考察し議論する力を養成したい。  |  |
|        | 身近な社会問題から地球規模の問題まで、課題を主体的に解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚や他の文化を尊重する態度を身に付けている。   | 3.8  | 3.9   | 日本や世界の地理や歴史にかかわる諸事象について、自分事として考察し表現する力を身に付けさせたい。各科目を通して学んだ事柄を、現在の日本社会にひきつけて考えようとする態度を身に付けてほしい。   |  |
| 数学     | 高校数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。基本的な知識・技能を身に付けている。                    | 3.6  | 3.7   | 単に定理や公式を覚えて使えるようにするのではなく、公式の導出も含めて数学的な原理や法則についてより深く考察できるようにしたい。  |  |
|        | 学んだことを活用して事象を論理的に考察でき、事象を簡潔・明瞭・的確に表現することができる。                             | 3.6  | 3.6   | 公式や定理を複数活用するような問題を解くためのアプローチとして、数学的事象について簡潔かつ的確に理解する能力を伸ばしたい。  |  |
|        | 数学を学ぶことに興味を持ち、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断でき、考察を深めながら、評価・改善しようとする力を身に付ける。           | 3.7  | 3.6   | 代数・幾何・解析などのつながりを意識し、複数の解法における数学的な意味などについても考察できるようにしていきたい。  |  |
| 理科     | 自然の事象・現象に対する概念や法則を理解し、それらを探求するための観察や実験の技能を正しく身に付けている。                     | 3.8  | 3.9   | 身の回りの事象と理論を紐付けることができているため具体的な事象例を多く取り扱うことで補いたい。  |  |
|        | 観察・実験を通して科学的な思考をはたらかせ、適切な手法を用いて結果の考察・表現ができる。                              | 3.9  | 3.8   | レポート等で考察や表現はよくできているが思考力を問う事象では身に付けた知識等を活用できていないため、論理的な思考力を伸ばす機会を作りたい。  |  |
|        | 身の回りの事象・現象から疑問を見つけ、学んだ知識等と関連付けながら主体的に科学的な探究や議論をすることができる。                  | 3.8  | 3.8   | 協力して実験を行う、意見を出し合うなどグループワークで学んだ知識等を活用していたが演習問題になると自主的に取り組めない生徒がいるので得た知識の活用の方を教えていきたい。   |  |
| 英語     | 基本的な語彙や表現等について、正しく理解し、活用発展することができる。                                       | 3.8  | 3.9   | 小テストなどを計画的、継続的に実施する。事後指導も工夫して、長文読解や英作文にも役立つ語い・表現力のアップを図る。  |  |
|        | 日常的な話題、社会的な話題について、さまざまな情報や考えなどを英語で理解したり、これらを活用して適切に自己表現したり伝え合ったりすることができる。 | 3.8  | 3.8   | 日常的な話題や社会的な話題についてさまざまな情報に接し、英語で自分の意見を述べたりしつかり根拠を示せるようにする。  |  |
|        | 主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。                                     | 3.8  | 3.9   | もっとコミュニケーションを図ろうとする主体性や自律性を、話すことにおいてはもっともろく書くことにおいても養ってきたい。  |  |
| 芸術     | 創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。                            | 3.9  | 4.1   | 今年度は、様々な表現に対応できるように、年間を通して、基礎の定着を図った。右書き(肖像・胸像)といったモチーフは、複製的な形のため、長時間描くことが困難だった。次年度は見えて感じ取らなくなった造形的な表現を大切に、空間や構図などの論理的な学習を取り入れ、モチーフに対しての書き意識を強化する。 |  |
|        | 造形的なよきや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働き等について考え、発想や構想を練ったり、美術文化に対する見方・感じ方を深めたりしている。  | 3.8  | 4.2   | デザイン学習の際は、既製品の模倣が多く見受けられたので、単元に沿った深い「探究」を行い、目的・機能も図れたデザインを作成する。また、デザインの実践や批判的な視点の育成を兼ね、昨年度よりも専門性を持った学習を取り入れる。                                      |  |
|        | 美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。                                | 3.8  | 4.1   | 作品を制作するうえで、先代の作家の作品鑑賞は必要であるという学習を行う。   |  |
| 家庭     | 生活を主体的に営むために必要な実践的な知識・技能を身に付けることができる。                                     | 3.7  | 4     | 社会生活が目の前に迫った3年次ではより実践的な内容を学習させた。特に住居分野、被服分野、調理分野では即生活を生かせる内容を重視した。今後とも継続していきたい。  |  |
|        | 自分の生活と社会との関わりの中から課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを表現することができる。              | 3.6  | 4     | 調べ学習や実習に取り組んだ内容を振り返り、次の課題を見出していく活動について、レポート等を通して、生徒によって理解の深まりが不十分な生徒がいる。次年度においては、事前指導の時間を十分にとり、より具体的な内容を教えられるよう指導していきたい。                           |  |
|        | 様々な人と協働し、自分の家庭、地域の生活を創造し、持続可能な社会の構築に向けた暮らしを实践しようとする事ができる。                 | 3.7  | 4     | 実習を多く行い、取り組んだ内容を実生活で再現することが重要であるが、生徒の再現状況にはばらつきがあった。家庭の状況が様々なことあり非常に難しいが、生徒自身の特色を見据え自分決定と捉えられるよう分りやすい指導を努めていきたい。                                   |  |
| 保健     | 生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や体力の向上を図ることができる。                                       | 4    | 4.2   | 学んだ知識や技能を活用し、自己や仲間に向けた運動習慣が確立できるようにするとともに、生涯にわたって運動を継続することができるようにする。   |  |
|        | 自他の運動の課題をもち、自ら考え活動を工夫し、その課題を解決することを通して運動の楽しさや喜びを味わうことができる。                | 4    | 4.1   | 課題に対する意識付けをし、主体的な活動の機会を増やす。  |  |
|        | 社会生活に必要な態度の確立と定着を図り、自他の健康を適切に管理し、改善していくことができる。                            | 4    | 4.1   | 自他の健康を意識して考え、改善できる資質・能力を養う。  |  |

| 教科 | 身に付けさせたい資質・能力                                     | 中間評価 | 年度末評価 | 次年度への課題   |  |
|----|---|------|-------|---|--|
| 情報 | 情報社会との関わりについての理解を適切に情報を処理する力、正しく伝える力を習得する。        | 4    | 4     | 進化する情報技術やサービスに対応できるようアンテナを高くしタイムリーな話題を取り上げる。                                  |  |
|    | 様々な事象を情報と結び付きと捉え、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。      | 3.9  | 3.9   | 生徒がより主体的に取り組めるよう生徒が興味を示す内容を題材として扱い、情報技術の効果的な活用を習得させる。                         |  |
|    | 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画することができる。          | 3.9  | 3.9   | 様々な情報技術を習得する中で、情報社会との関わり方を考えさせる指導を行う。   |  |
| 総探 | 様々な在り方生き方への理解と自己の在り方生き方を深化させることができる。              | 4.1  | 4.1   | 自身の在り方生き方についてより深い理解をするための情報収集を、与えられるのではなく主体的に実行できるようにしてほしい。                   |  |
|    | 自己実現に向けて、自己の在り方生き方を探究し深めることができる。                  | 4.1  | 4.1   | 自身の考えを多面的・多角的に検討し、客観的に分析する力を育てたい。うまくいったこととそうでないことについてPDCA分析することを繰り返すことが必要だった。 |  |
|    | 自己の進路探究を通して、社会の一員として、よりよい社会の実現のために社会に参画・貢献できるように。 | 4.1  | 4.1   | 高校卒業直後だけでなく、長い人生を見通した進路探究を設定することができればよかった。                                    |  |

| 「授業アンケート」高評価数値の推移(％:小数点第1位まで)    |               |       | R6中間  | R6年度末 |
|----------------------------------|---------------|-------|-------|-------|
| 授業の始めに授業の目標を確認することができた           | ①強くそう思う、②そう思う | 92.1% | 98.0% |       |
| 話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた     | ①強くそう思う、②そう思う | 77.5% | 85.9% |       |
| 他の人の話や発表に耳を傾けることができた             | ①強くそう思う、②そう思う | 94.3% | 98.5% |       |
| ノート等で授業の記録をすることができた              | ①強くそう思う、②そう思う | 96.5% | 98.1% |       |
| 活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた | ①強くそう思う、②そう思う | 93.1% | 93.9% |       |
| 授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた | ①強くそう思う、②そう思う | 84.8% | 91.4% |       |
| 家庭学習(宿題や課題)と授業を、有機的に結び付けることができた  | ①強くそう思う、②そう思う | 93.8% | 97.4% |       |
| 授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた     | ①強くそう思う、②そう思う | 56.1% | 82.7% |       |

| 保護者アンケート結果(学力に係わるもの)   |  |  |
|--|--|--|
| 本年度の学校改善・点検シートに学力に係るものに関しては、「教育課程・授業内容は、生徒や地域のニーズにこたえたものになっている」、「わかりやすい授業が行われている」、「家庭学習の習慣化に向けて指導がなされている」などで肯定的な評価は、前期・後期ともに、ほぼ70%以上であった。しかし、後期での肯定的な評価は減少した。進路決定に伴い、家庭学習時間が減ったことが要因だと考えられる。 |  |  |

| 授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)  |  |  |
|--|--|--|
| 授業アンケート結果からは、ICT機器の効果的な活用を除いた項目で肯定的な回答が84%以上と高評価であった。また、各教科における身に付けさせたい資質・能力は、ほとんどの教科で中間評価より年度末評価が高く、授業改善の成果が現れた。特に、ICT機器の効果的な活用については肯定的な回答が前期から26.6%アップした。効果的な取り組みを他の年次とも共有しながら、自主的創造的な学習態度の育成を進める。 |  |  |